

ホールディガー

取扱説明書

SHS-31A
SHS-15A
SHS-S

も く じ

ご使用になる前に

- はじめに…………… 1
- 安全のため必ずお守りください…………… 2
- 各部の名称とはたらき…………… 4
- 使用前の準備…………… 5

ご使用にあたって

- 作業のしかた…………… 7

知っておきたいこと

- 点検と長期格納…………… 7
- 不調の原因と処置…………… 8

そ の 他

- 仕様…………… 8
- オーガスタンド (オプション)…………… 9
- 安全確認一覧表…………… 10

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検等について記載してあります。

本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

警告 ……もし守らないと、重傷事故を引起こすことがあります。

注意 ……もし守らないと、負傷事故を引起こすことがあります。

2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

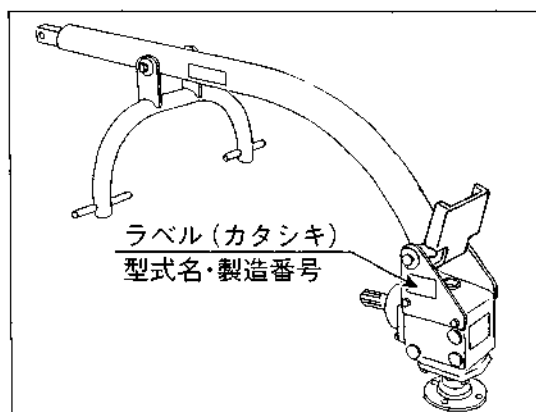
重要 ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる可能性がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



警告

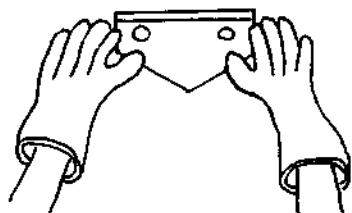
- 本機は水田・畑・果樹園などでの穴掘用として設計されています。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

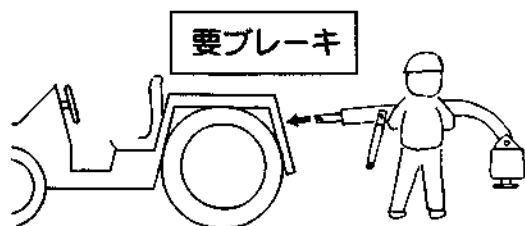
使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

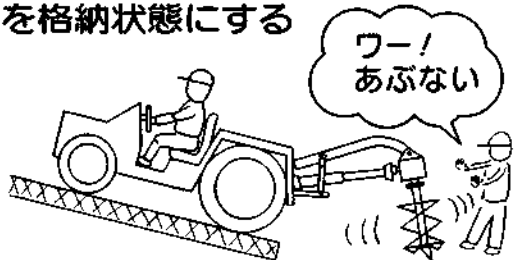
刃物の取付け、点検は厚手の革手袋着用



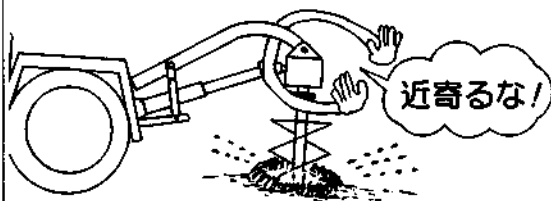
トラクタへの着脱はエンジンを停止し、ブレーキをかけてから



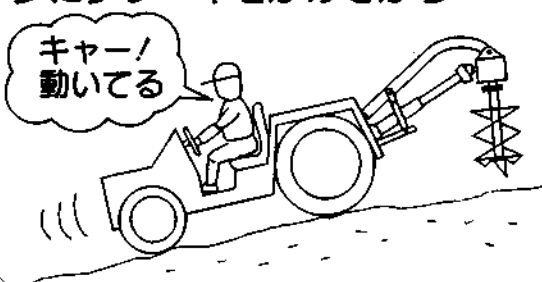
運搬(移動)中、又はトラクタのトラックへの積降し時はオーガを格納状態にする



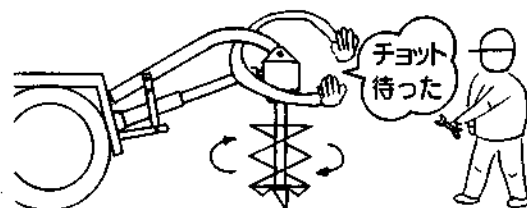
掘削作業中は絶対に人を近づけない、又近寄らない



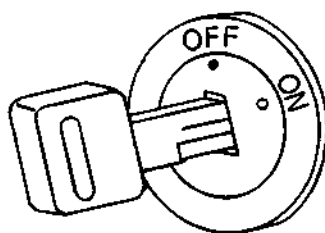
傾斜面等での作業は必ずトラクタにブレーキをかけてから



点検はトラクタのエンジンを停止し、オーガが止まってから



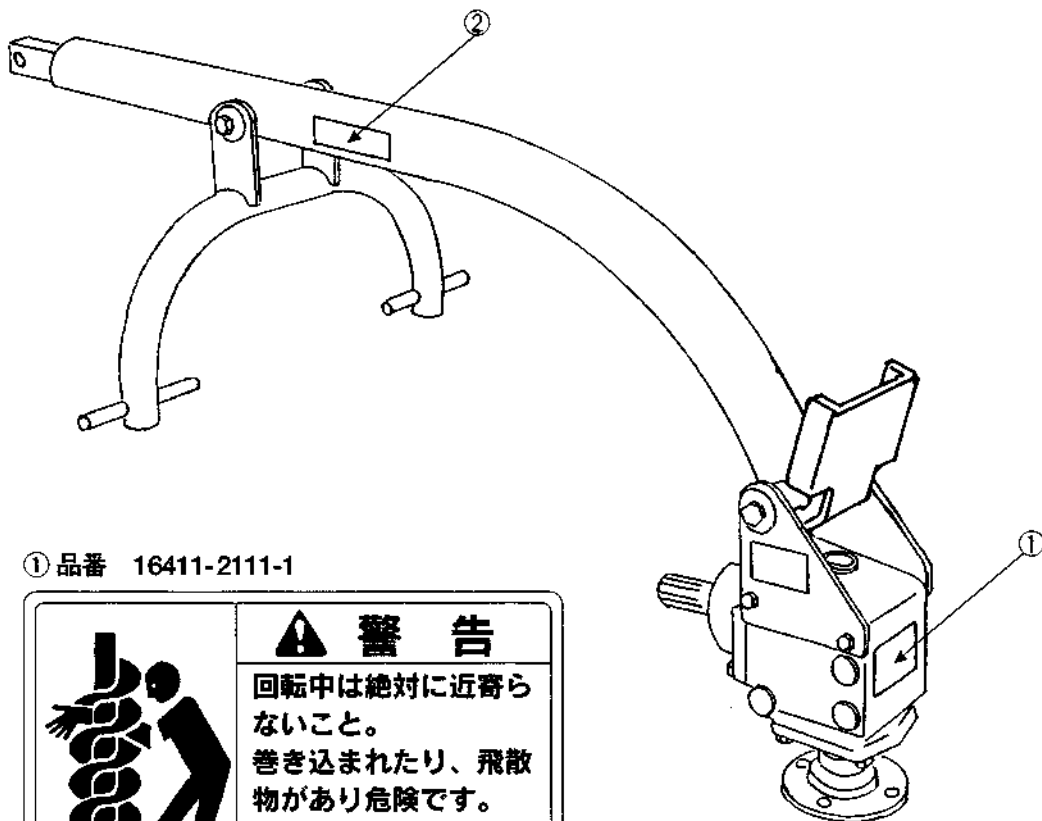
機械から離れる時はトラクタのエンジンを停止



⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

使用前に安全ラベルをよく読む

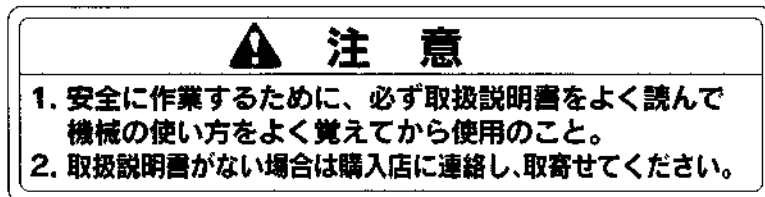
- ホールディガーには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。



① 品番 16411-2111-1

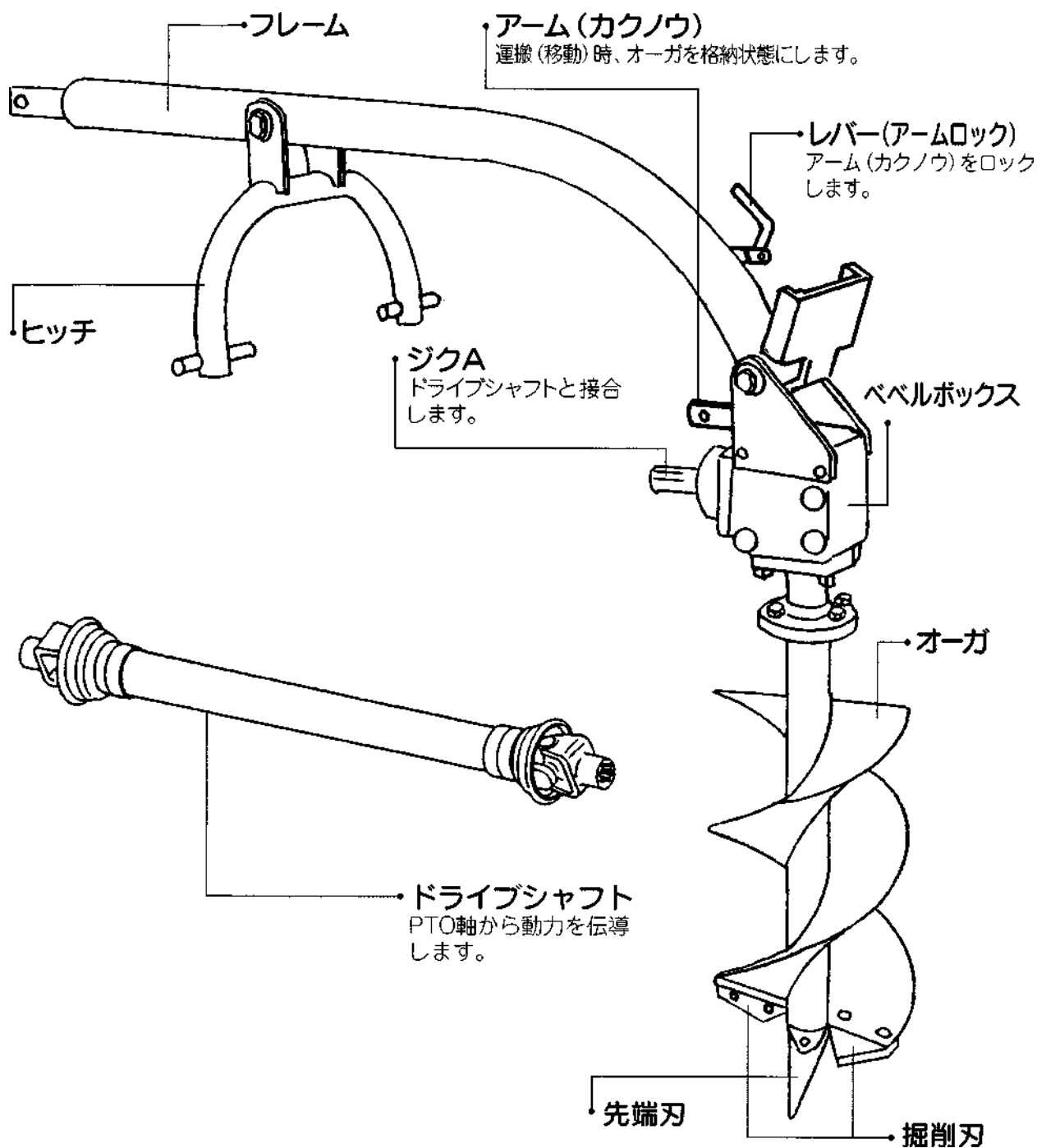


② 品番 22132-3115-1



- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルが貼付けされている部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき



使用前の準備

1. フレームとヒッチ、オーガと刃物の組付け

⚠ 注意

- 刃物の組付けは厚手の革手袋を着用して行ってください。

① ヒッチをフレームに組付ける。

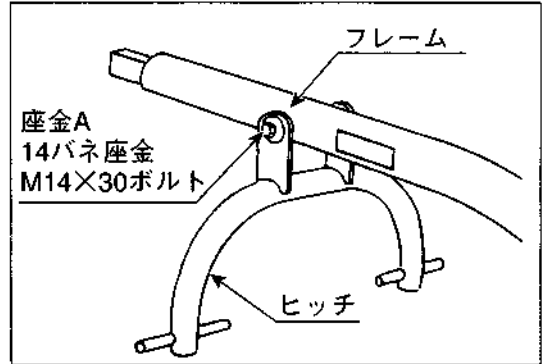
- M14×30ボルト…………… 2個
- M14 バネ座金…………… 2個
- 座金A…………… 2個

② 先端刃をオーガに組付ける。

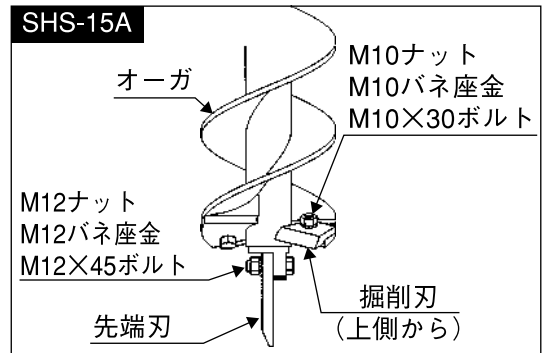
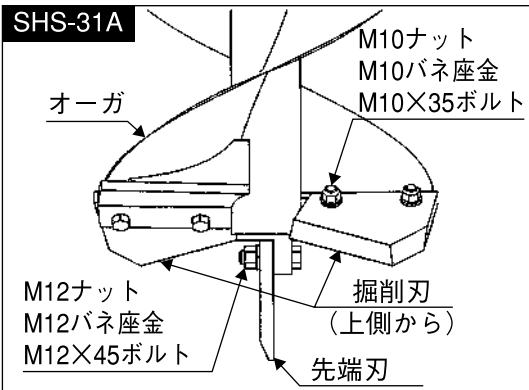
- M12×45ボルト…………… 1個
- M12 バネ座金…………… 1個
- M12 ナット…………… 1個

③ 掘削刃をオーガに組付ける。

- SHS-31A
- M10×35ボルト…………… 4個
 - M10 バネ座金…………… 4個
 - M10 ナット…………… 4個



- SHS-15A
- M10×30ボルト…………… 2個
 - M10 バネ座金…………… 2個
 - M10 ナット…………… 2個



2. トラクタへのセットと調節

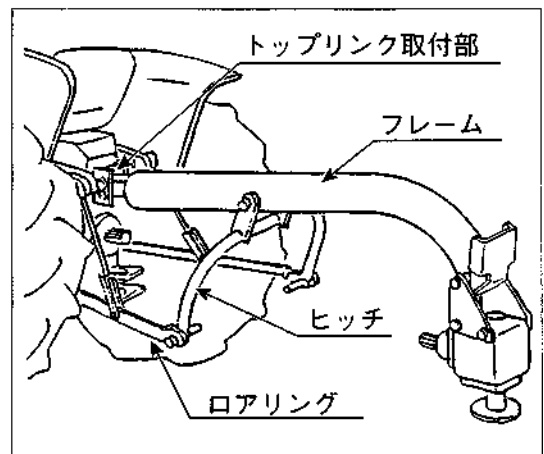
⚠ 注意

- トラクタへの着脱はエンジンを停止し、必ずブレーキをかけた状態で行なってください。

① フレーム先端部（角材）の穴をトップリンク取付部（トラクタ）の一番上の穴に合わせヒッチピンで止める。

② ロアリンクにヒッチ先端の軸を差込みヒッチピンで止める。

トラクタが小型の場合はヒッチの内側の軸を、中型の場合は外側の軸を使用します。

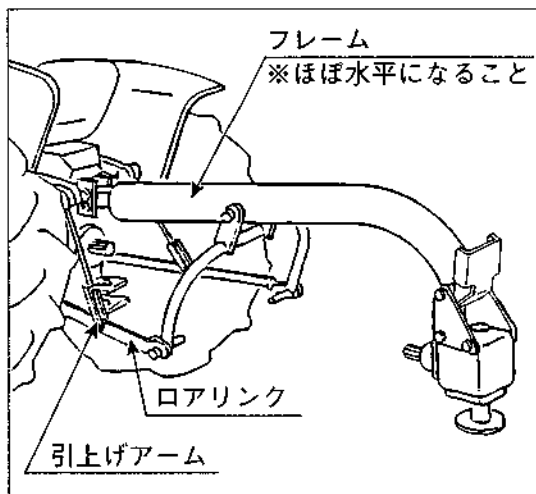


③フレームの上下調節

⚠ 注意

- トラクタのエンジン始動は、周囲の安全をじゅうぶん確認し、クラッチは「切」の状態で行ってください。

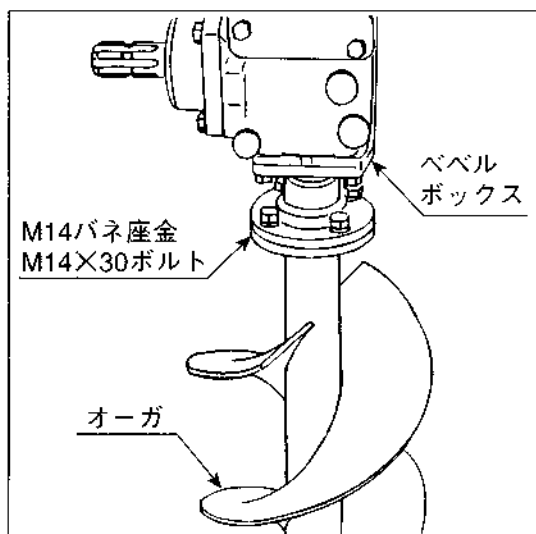
トラクタのエンジンを始動し、油圧レバーを操作してフレームがほぼ水平まで下がるか確認します。もし水平まで下がらない場合はロアリンク、引上げアームの接合位置を移動するかなどして調節してください。



④オーガのセット

オーガをベベルボックス下部のフランジに組付ける。

- M14×30ボルト…………… 4個
- M14 バネ座金…………… 4個



⑤ロアリンクの振止め

振止め用タンバクルを左右均等に強く張ります。

⑥ドライブシャフトのセット

ドライブシャフトをPTO軸とベベルボックスの軸にセットします。

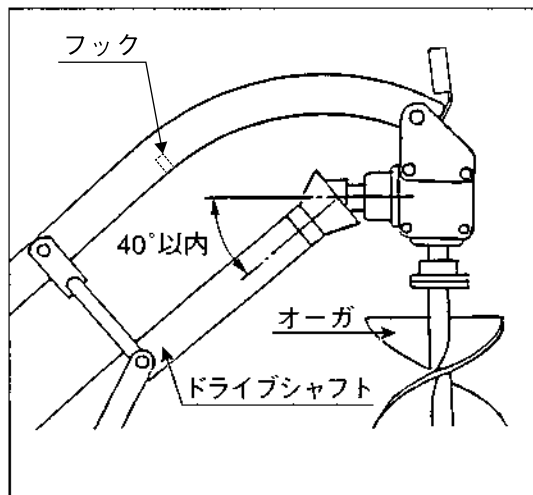
カバーの回り止めのチェーンを、本機が上下動しても引張られない位置に掛け、回り止めをしてください。

ベベルボックス側はフレームのフック(下図)に掛けてください。

⑦油圧レバーのストップのセット

油圧レバーを操作し本機を上げたとき、オーガ先端刃が地面より約10cm上がる位置でストップをセットします。

ドライブシャフトの屈折角度を40°以内に保つためです。



重要

- 振止め用タンバクルが左右均等に張られていない、または張りが弱い場合は地面に垂直に穴があかなかったり、振動の原因となります。
- ドライブシャフトの屈折角度は40°以内になるように油圧レバーのストップをセットしてください。40°以上で回転させますと寿命が短くなりジョイント部の損傷につながります。

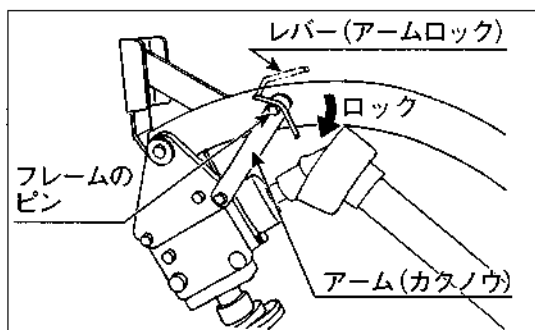
作業のしかた

警告

- 掘削作業をするときは、周囲の安全をじゅうぶん確認し、オーガには絶対に人を近づけないように、また近寄らないようにしてください。オーガに巻き込まれたり、飛散物があり危険です。
- 傾斜面などでの作業は、必ずトラクタにブレーキをかけてから行なってください。トラクタが移動し思わぬ事故につながります。
- ホールディガーをトラクタにセットしたままでの走行（移動）の際はオーガは絶対に回転しないでください。
- 運搬（移動）中、またはトラクタのトラックへ積降ろし時は、必ずオーガを格納状態にし、レバー（アームロック）でロックしてください。

1. 運搬・移動

- ① ホールディガーをトラクタにセットしたままでの走行、またはトラックへの積降ろしの際は必ずオーガを格納状態にし、トラクタの油圧レバーは最上位置でロックしてください。
- ② オーガの格納
アーム（カクノウ）の穴をフレームのピンに入れ、レバー（アームロック）でロックする。



重要

- 格納状態時はオーガを絶対に回転させないでください。回転させると機械が破損します。

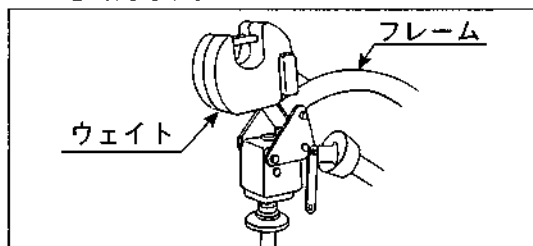
2. 掘削作業

- ① オーガの格納を解除し、オーガをフリーにします。
- ② トラクタのエンジンを始動します。

- ③ オーガがほぼ垂直になるように先端刃を地面に接地させます。
- ④ 適正回転数まで少しずつ回転を上げて掘り下げる。（PTO軸240～320rpm）
- ⑤ 500～600mmまで掘り下げたらオーガの回転を止めて地表に引上げる。
- ⑥ 低回転でオーガを廻し土を振るい落とす。

重要

- 果樹施肥用穴の掘削は新根を切らないようにするため年々外周方向へ穴位置を替えて掘ってください。
 - 本機は水田・畑・果樹園用で石の少ない所に適します。石が多い場合は無理を避け別の場所に掘ってください。
 - P T O軸の回転数は240～320rpmが適正回転数です。回転が低いと土の上がりが悪く、高すぎると土の飛散が大きくなります。
- ※地面が固く、ささが悪い場合はフレームの先端にトラクタ用のウェイトを載せてください。



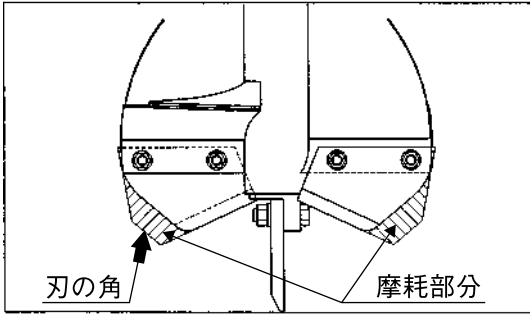
点検と長期格納

注意

- 点検は必ずトラクタのエンジンを停止し、オーガの回転が止まってから行なってください。
- 刃物の点検は厚手の革手袋を着用して行なってください。

1. 刃物の点検

掘削刃の角が磨耗し、オーガに達しそうになったら交換してください（下図）。



2. ベベルボックスオイルの交換

約300～500時間で交換してください。
オイルの種類はギヤオイル#90、量は約0.7ℓです。

3. 長期格納

- ① 本体は良く水洗いし、乾いた布で良く拭きとってください。
- ② 刃物、摺動部には注油し、錆びないようにしてください。
- ③ 保管は風雨のあたらない乾燥した場所にしてください。

不調の原因と処置

注意

●点検は必ずトラクタのエンジンを停止し、オーガの回転が止まってから行ってください。

現象	原因	処置
振動が大きく穴が垂直にあかない	ロアリンクの振止めが不じゅうぶん 振れ止めが左右均等でない	振止め用タンバックルをしっかり張る 左右均等に張る
穴の掘り深さが浅い	油圧レバーを下げててもフレームが水平まで下らない	ロアリンク、引上げアームの接合位置を替える
ドライブシャフトのジョイント部から異音がする	ドライブシャフトの寿命	屈折角度が40°以内になるよう油圧レバーのストップ位置を調節する
オーガがささっていない	土が固い	フレーム先端にウェイトを載せる
	石が多い	石のある場所を避ける

仕様

型式		SHS-31A	SHS-15A
総重量 (kg)		65	63
回転数	オーガ (rpm)	150～200	
	P T O (rpm)	240～320	
オーガ径 (mm)		300	150
掘り深さ (mm)		500～600	
掘削能力		約100個/時間	
適応トラクタ		3点リンク装備 8～38 PS	

※適応するカテゴリーは0、1です。

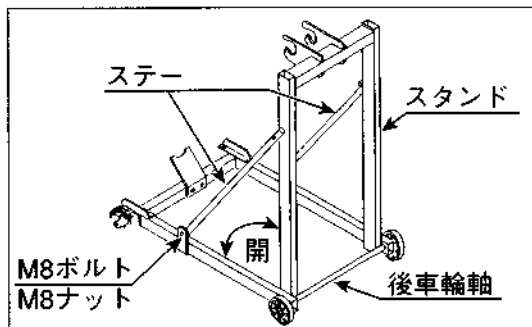
オーガスタンド（オプション）

■ホールディガーをトラクタから外したときに収納するスタンドです。
トラクタへの着脱が一人で簡単にできます。

適応機種	品番	品名	型式
SHS-31A、15A	16811-0000-0	オーガスタンド	SHS-S

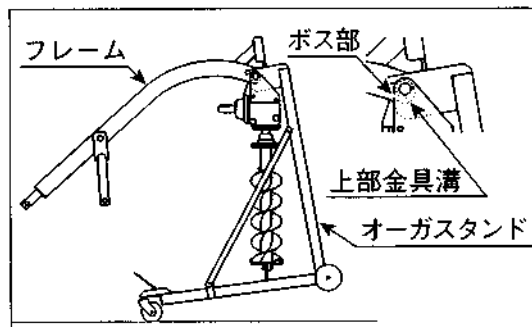
1. 出荷部品の組立

- ①スタンドの角パイプを後車輪軸を支点に開きます。
- ②ステーの穴とスタンドの穴をボルトで固定します。
M8ボルト……………2個
M8ナット……………2個

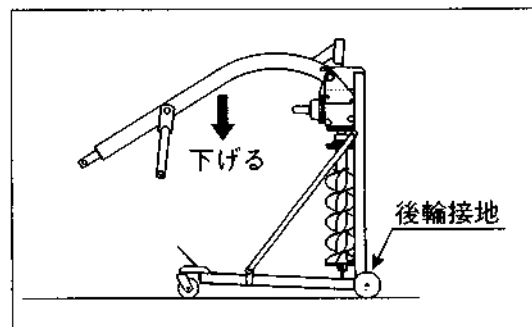


2. オーガスタンドの使いかた（ホールディガーをトラクタから外す場合）

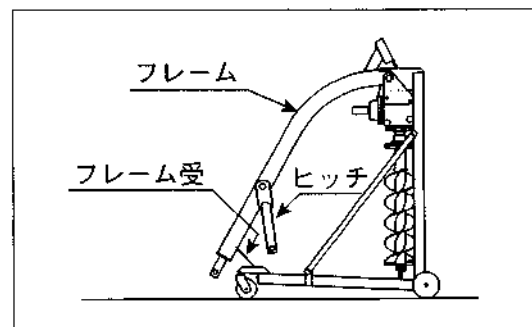
- ①ホールディガーをオーガ先端刃が地面より約10cm上がる位置にします。
- ②オーガスタンドの上部金具溝をフレームのボス部に引掛けます。
- ③トラクタのロアリンクを下げ、オーガスタンドの後輪を地面に接地させます。
- ④ドライブシャフトを外します。



- ③トラクタのロアリンクを下げ、オーガスタンドの後輪を地面に接地させます。
- ④ドライブシャフトを外します。



- ⑤ヒッチをロアリンクから外し、フレームをトップリンクから外して、フレーム受に載せます。
- ※トラクタへの装着は逆の順序で行ないます。



安全説明確認カード

説明者(販売店・農協)控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

印

販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業は明るい日昼に行なうこと。	
3. 刃物の取付けは厚手の革手袋を着用して行なうこと。	
4. ホールディガーのトラクタへの着脱は、エンジンを停止しブレーキをかけてから行なうこと。	
5. 運搬（移動）中、またはトラクタのトラックへの積降ろし時は、必ずオーガを格納状態にし、レバー（アームロック）でロックすること。	
6. 掘削作業中は絶対に人を近づけない、また近寄らないこと。	
7. 傾斜面等での作業は、必ずトラクタにブレーキをかけてから行なうこと。	
8. 機械から離れるときはトラクタのエンジンを必ず停止すること。	

【点検・長期格納について】

チェック

1. 点検はトラクタのエンジンを停止し、オーガの回転が止まってから行なうこと。	
2. 刃物の点検は、厚手の革手袋を着用して行なうこと。	

安全確認一覧表

基本事項

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

作業について

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業は明るい日昼に行なうこと。
3. 刃物の取付けは厚手の革手袋を着用して行なうこと。
4. ホールディガーのトラクタへの着脱は、エンジンを停止しブレーキをかけてから行なうこと。
5. 運搬（移動）中、またはトラクタのトラックへの積降ろし時は、必ずオーガを格納状態にし、レバー（アームロック）でロックすること。
6. 掘削作業中は絶対に人を近づけない、また近寄らないこと。
7. 傾斜面等での作業は必ずトラクタにブレーキをかけてから行なうこと。
8. 機械から離れるときはトラクタのエンジンを必ず停止すること。

点検・長期格納について

1. 点検はトラクタのエンジンを停止し、オーガの回転が止まってから行なうこと。
2. 刃物の点検は、厚手の革手袋を着用して行なうこと。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区长嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 16416-16111